

(様式2)

# 学校関係者評価報告書

(愛媛県立小松高等学校)

学校番号 ( 11 )

評価実施日

令和4年2月16日(水)

委員	氏名	所属等		備考
	池内 修	学校評議員	自治会役員	
村口日出子	学校評議員	国際ソロプチミストいしづち会長		
曾我部米治	学校評議員	小松公民館長		
曾我部研二	学校評議員	氷見交友会館長		
真鍋 明	学校評議員	マルブン社長		
岡田 光	西条市立小松中学校長			
藤原 正三	西条市立小松小学校長			
藤原 芳宏	P T A会長			
戸田潤二郎	P T A副会長			
吉田 祥一	P T A副会長			
青野 裕美	P T A副会長			
富永 梓	P T A副会長			

評価・提言等

提言等に対する改善方策等

## 1 今年度の最終評価について

### (1) 学習指導

家庭学習時間が1時間弱なのは気になる。授業公開日に参観させてもらった時は、かなり落ち着いた状態で授業を受けており、学校全体に落ち着きが見られた。これからも継続してもらいたい。また、生徒のアンケート結果より、各先生方が学力向上に向けて真摯に向き合い、授業改善が進んでいることが分かる。

進路実現にもつながる各種検定1級合格者の延べ60名以上は、とても素晴らしいことである。

校内研究授業や相互参観授業の参加が少ないように思う。昨年度、今年度とこれまでの授業環境が異なるため、計画的に授業参観を行うことが難しくなると推測される。授業参観を盛んに行うことで、教師の授業力も高まる。気軽に参観し合える環境が整うとよい。

### (2) 生徒指導

小松高校生から挨拶をよくしてくれる。生徒課の取組で交通ルールを意識させることにより、命に係わる大事な交通マナーの徹底を推進していることに感動した。

### (3) 進路指導

小論文、集団討論、プレゼンテーション等の能力の育成強化をお願いしたい。新型コロナウイルスの影響で実施が難しくなっているが、体験学習としてのインターンシップの取組を積極的にお願いしたい。

家庭学習時間調査の時期が、年度初めの5、6月であったことが少し影響しているかもしれない。個人面接を行い、学習状況を確認したり、課題の出し方などを工夫したりしていきたい。また、新学習指導要領の実施に向け、一層の授業の改善に努めたい。

資格取得は家庭科や商業の検定だけでなく、英検・漢検などについても、各教科で取り組んでいる。今後も検定合格に向けて、きめ細やかな指導を行っていききたい。

発問の仕方や生徒への接し方、自分の授業以外の生徒の様子も見る事ができる機会にもなるので、気軽に相互参観できるような環境作りに努めていきたい。また、ICT活用が得意な教員の授業参観なども積極的に行っていききたい。

社会のルールや交通マナーを守る指導に力を入れている。自転車交通マナー向上対策事業推進校となり、事業を通して生徒の意識向上は見られるが、行動・実践にはまだ十分に反映されていないのが残念である。

今後も社会のルールや交通マナーを遵守することの大切さについて一層理解を深めさせ、マナーの向上が図れるよう努めたい。

インターンシップの準備までは順調にできたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて実施することができなかった。校外での学びがほとんどできない状況の中、リモートなどのオンラインを上手に活用していきたいと考えている。夏季休業中にオンラインで他校と合同で面接練習を行ったが、対面で行う場合と比較すると様々な課題に気づき難い部分もあった。今後も大変な状況は続くと思うが、質を高める工夫をしていきたい。

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>(4) 特別活動            コロナ禍では、特別活動は難しかったのではないだろうか。しかし、部活動や奉仕活動に制限のある中で取り組み、人間性を育てる活動を推進している。来年度は記憶に残る活動ができることを期待している。</p> <p>(5) 地域協働            地域協働事業の活動として、「小松未来塾」では料理研究家と共同開発した魚食弁当を婦人会と協力して作ったり、「まちかど家庭科室～ふらっと～」で地域の方々や小・中学生に椿の水引細工や椿の消しゴム判子を制作する講座を開講したりと盛り上げてくれた。</p> <p>2 学校運営への提言            ホームページなど外部への発信については、ライフデザイン科が文部科学省から地域協働事業の指定を受けたこともあり充実している。ホームページの更新がタイムリーで楽しみになるように、普通科の生徒の活動の紹介にも頑張ってもらいたい。</p> <p>受検生が減少していることを心配している。学校魅力化には特長が必要である。全てが平均では魅力がない。学校の特長が出ると面白い。例えば、城下町、近藤篤山先生の教えなど、地域性を生かして方向性や目標を決めるとよいのではないかと。同じ規模の他校の取組を参考にしてみてもどうか。</p> <p>アンケート結果より、「職場が働きやすい環境にある」「チームワークがよい」の評価が上がっており、校長先生のリーダーシップの下、教職員が働きやすい環境に職場改善されていることが想像できる。これは、生徒たちにより影響を与えている。</p>	<p>部活動については、コロナ禍で活動が制限され、例年通りの活動が行えない中で、全国・四国大会の出場権を得るなど、生徒たちはよく頑張った。奉仕活動については、コロナ禍において、何ができるかを考えて活動をしていきたい。</p> <p>地域連携事業において、数々の御支援・御協力をいただいていることに、お礼を申し上げたい。3年間で生徒たちは著しく成長した。本年度で事業は終了となるが、来年度以降も地域の活性化を目指した持続可能な活動を継続していきたいと考えているので、今後とも、御支援・御協力をお願いしたい。</p> <p>行事が少なく、ホームページを毎日更新するのは難しかった。今の本校の様子がよく分かるように、情報提供・発信を進めていきたい。令和4年度入学生から教育課程が大きく変わってくるので、類型などを分かりやすく伝えられるようにしていきたい。</p> <p>専門学科の人気の高くなってきており、本校としては普通科の魅力をどのように引き出していくかがカギとなっている。校内教職員研修で「3年後、生徒にどのような力をつけて卒業させたいか」というテーマでワークショップを行った。受検生が減少傾向にあるが、「小松高校がこの地域にあってよかった」「小松高校に入ってよかった」と思われる学校になるため、今後も学校の魅力化について全教職員で考え、積極的に広報していきたい。</p> <p>生徒たちは敏感であり、教員をよく見ている。職場において、よりよい雰囲気作りに努めていきたい。今後も、教職員が共通理解の下で教育活動に当たり、生徒、保護者、地域から信頼される学校となるよう、協力体制の強化に取り組んでいきたい。</p>